

## 自分にとっての当たり前を選ばない

家庭・学校・地域 ふれあい講演会がこれから始まります。この講演会は、皆さんが将来のことに目を向けるきっかけにしてほしいと考え、実施するものです。

将来のことといえば、3年生にとっては、目の前の進路選択がどうしても最優先になってしまうのですが、その先には、社会に出るための職業・仕事の選択もあります。将来、就きたい職業等が既に決まっているという人もいますよね。もちろん、それは素晴らしいことです。その時々で、考えが変化することも当然あるでしょうし、今はまだ将来の夢も就きたい仕事も決まっていないということも当然だろうと思っています。

先日、アーティストのA d oさんのことを取り上げているテレビ番組を観ました。もともとA d oさんには興味をもっていました。「唱」「新時代」という曲なども車の中で聞くこともあります。小中学校の頃から、A d oさんは、しゃべることや人前に出ることが苦手で、コミュニケーションが上手にとれないことにコンプレックスを持っていたそうです。そういう中で、今や日本の文化ともなっている「ボーカロイド」に出会い、救われたことで、日本文化に恩返しをしたいと考えているとお話になっていました。また、何かをしようとする時に、「自分にとっての当たり前を選ばない」ともお話になっていました。人には「向き」「不向き」はあるけれど、不可能なことはないと考えているからだそうです。将来的に、多くの選択肢を作るために、多くのことに挑戦をしていることに感銘を受けました。しゃべることが苦手なA d oさんにとっては、「オールナイトニッポン」のパーソナリティーも選択肢を増やす挑戦なのだと理解しました。

本日は、株式会社「ありあまる」の代表取締役社長・小林良也（りょうや）さんに、富士見中学校にお越しをいただきました。そして、これから「何者でもないあなたへ」と題した御講演をいただきます。お話を聴くことで、皆さん一人一人が、自分自身ってどんな人間なのか、何に興味をもち何をしようとしているのか、そんなことを考えるきっかけになればいいなと思います。また、自分でない誰か（ここでは小林先生）の生き方・考え方に触れることで、皆さん自身の選択肢を増やすことができたらとてもうれしいです。

それでは、小林良也先生、どうぞ宜しくお願いいたします。